睦郷懶言
入子枕五編

仙果作
國芳画

芝神明前
喜鶴堂

嘉永五壬子春
新刊

へ遠13
1868
5

笠亭仙果作
一勇齋國芳画
七ツ組
入子枕
第五編
壬子新鐫
喜鶴堂壽梓
上冊
下冊

壬子初春

七ツ組入子枕

五編上冊

仙果作

國芳画

芝神明前

佐野屋

發行

門へ遠3
帙 1868 さ

大太郎八宇治拾遺に載てあり矢のたけのぶを恐怕し夏既に四編に演るが如く
調伏魔ゆ井泉堂の柳風亭初編の序に本文を鈔せ如く今昔物語小出賢き
奴ゆて人に知るべ刑伐の脱由ゆ又愚生尾張に在時同好の狂友等相互に
誑惑せると調伏とフテウせ事いのれバかゝぐ以て拐子に名を弄り三人の徒弟に
於てハ其名僉筆鋒の戯ゆ鹽屋の門人ゆ名鹵水の滴太人を化せバ小狐王左彦
山吹を連て走るバれんとびゆ蛙雄ゆ其餘の人に姓名家号聊縁と取とい人
ゆ巻くゆとかゝ又此四編五編二帙十二樓の帰正樓に其俗に譯せ物
二三ゆ昼夜と世間の用心記と云ふ鹿子に中の話も接へ使用るところもあり
全の自作もあり山門の建立殿堂の荘厳ゆとい浅れゝゆる童稚に戯れ
似されども原書乃筋ゆく矣草道理ゆ中ちぬハ骨版に揚さゝりの勘要
中睡郷贔言ゆと省人岱給ゆ支那ゆ

嘉永五壬子年閑春新板

宮内省藏書

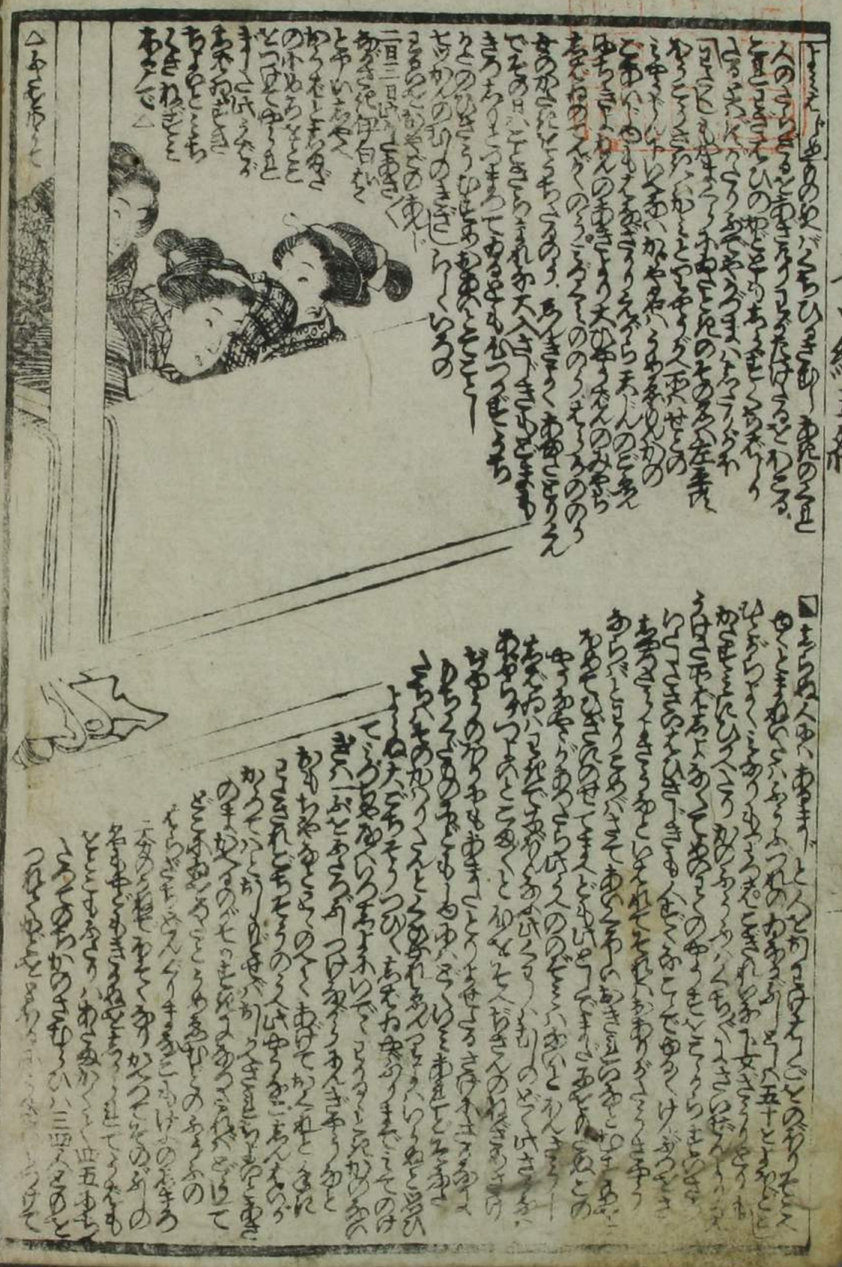
笠亭仙果記

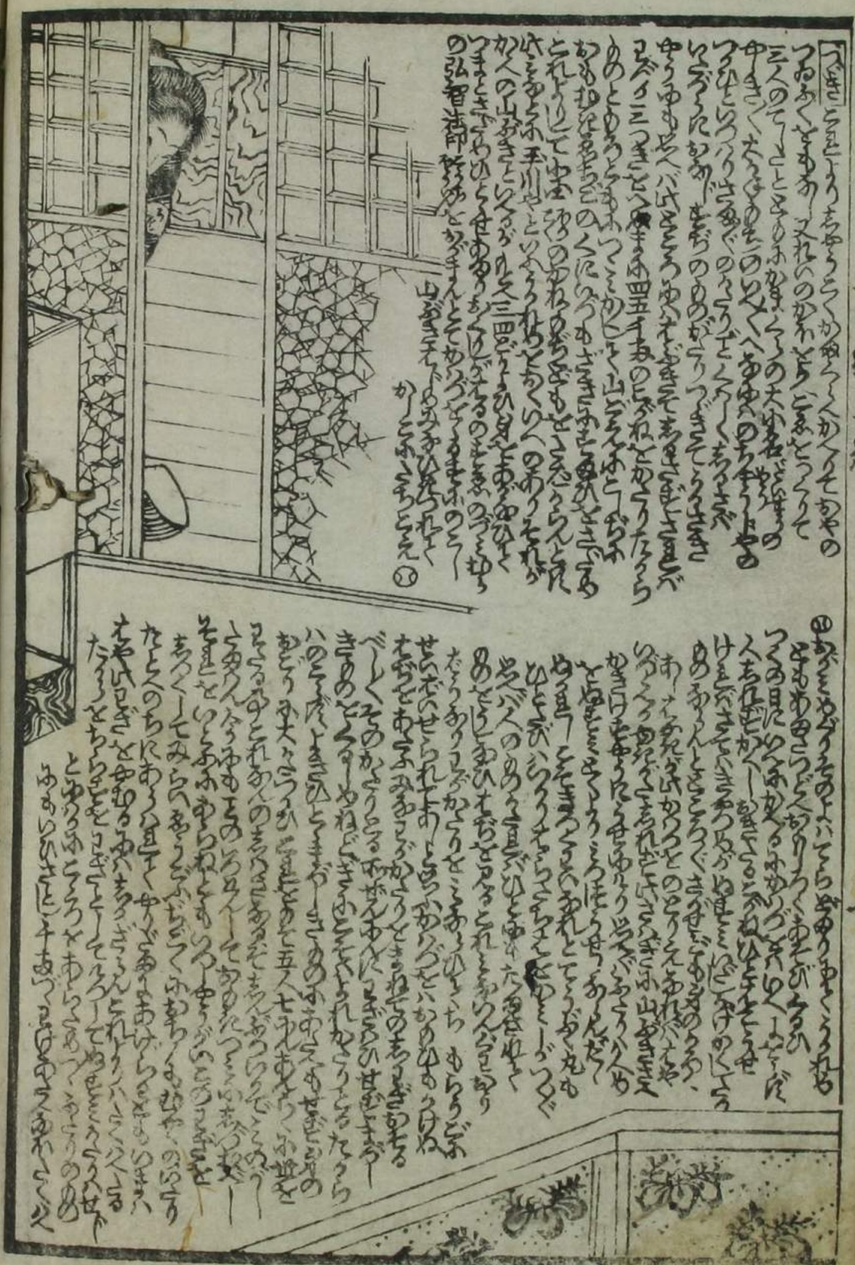
淨蓮尼塑
羅漢泥像
之圖

奉勸世人休
碌々
擧頭三尺有
神明

連飛蛙雄
殺伏水老
婆土師盜
數金之圖

淨蓮義中了
此ふと絵ものと
ふ画とたゝかけば
はくふ其孫とう写
生して
又云是らのふも
原本承一様る
ものあるべし
とてのこと





蓋木先得堂
蓋木先得堂

國芳画仙果作

つき　まさあひこそてゆるせ
あいとしゝば
やをとと安
ぶさいこゑを
そろくく
「わしふきあ
うらゆめ
しらい
わこのまん
らくいち
どいさ
あこちち
ちうこひを
まつくあ
ぶこいやろ
あこあいゆを
ものもいそん
うどれもすねど
ちろぶきさんい
かまくをんぶう
ふこらくひとも
ちのんでろそうとるる
しのゝゝいをんをあらう

下のまきよつ尾

歸止樓
一雙玉手千人枕

歸正樓
初

紀

多八来

多八来

娘
福

調
蛙
山

一勇齋國芳畫

笠亭仙果作

根源實紫　笠亭仙果作　一陽齋豊国画　初編二篇　當春出板

睡郷贋言　七ツ組入子枕　笠亭仙果作　三編四編　一勇齋國芳画

山東庵京山作　総次郎琴聲美人錄　六編七編　一陽齋豊國画

樂亭西馬作　關太郎鈴鹿故語　初編一編　一雄齋国輝画

柳下亭種員作　浅間嶽面影草紙　初編二編　一雄齋国輝画

同　破軍太郎七星奇談　初編二編　同画

江戸團扇錦繪草紙和店　芝神明前三島町角　佐野屋喜兵衛板